

給食は地産地消で 安全な自校方式を

日本共産党市議団議会レポート



中学校給食を実現してほしいとの切実な声は大きく広がっています。先日行われた文教子ども委員会では、12月におこなわれた「昼食のあり方検討会」の内容について報告されました。教育委員会は、一番安上がりな方法としてデ

リバリー方式（業者による弁当）への誘導を強めています。

しかし、これでは地産地消も進まず、アレルギー対応も情報提供程度になってしまいい、これまで小学校で行われていた対応から大きく後退する危険性があります。小学校と同じような自校方式にすれば、地産地消で生産者の顔が見える食材等を使用することで安全性を確保し、地域の商店から調達することで活性化にも役立ちます。

またアレルギー対応も除去食が可能です。全員で同じ食事を食べることから、食育の様々な取り組みが工夫できま

す。

財政面でも、初期投資は必要ですが、国の補助もあります。「お金がかかるから自校方式は論外」ではなく、子どもたちへの投資は未来への投資という姿勢が必要ではないでしょうか。

お知らせ スクールカウンセラーにご相談を

「いじめ自殺」が社会問題になっています。神戸市は、いじめ、不登校対策として、各中学校にスクールカウンセラーを配置し、小学校にも巡回して相談を受ける体制をとっています。また、いじめホットライン24時間、電話教育相談も行っていますので、ご利用ください。

こうべっ子悩み相談 **TEL.361-7710**
「いじめホットライン」 (毎日24時間)



日本共産党 神戸市会報告

兵庫区版

2013・新年号

日本共産党
神戸市会議員

すすこ

大かわら鈴子

区庁舎建て替え・区民ホール建設

住民の声にこたえるべき

兵庫区の区庁舎建て替え、区民ホールの建設について検討がおこなわれています。区役所は長年にわたって現在の場所にあり、移転よりも現地での建て替えをとの声が多く上がっています。区民ホールについては、区庁舎の中に、今の兵庫公会堂のように集会等ができるホール機能も当然必要です。

また、南部には使い勝手のいい施設が少なく

「南部に文化施設を」との長年の強い要望があります。いま、中央市場西側跡地に建設されるイオンモールの中に「イオンホール」ができるとの話もありますが、民間の施設である以上、撤退の可能性もあり、文化の拠点とするには不安定です。神戸市は、住民の声にこたえるべきです。あわせて兵庫区の大きな課題である南北交通の改善も急ぐべきです。

借上げ住宅

継続入居に
踏み切るべき

神戸市は、借上住宅の入居者に対して「20年の期限」を盾に一方的な追い出しを進めており、入居者は不安とストレスのため体調を崩す人が続出しています。ある入居者は、神戸市の道路建設事業に協力し、10年前に今の借上住宅に入居しました。その時に、神戸市職員から「20年の期限は延長されるから大丈夫」との説明を受けたとのこと。

このような理不尽な事例は多数あります。大かわら議員は、神戸市の無責任な態度を厳しく批判しています。

弁護士団体の自由法曹団兵庫県支部も、神戸市のやり方の違法性を指摘する意見書を、市長、県知事に提出しています。神戸市は、入居者の声に耳を傾け、公営住宅として継続入居できるよう踏み切るべきです。

自由法曹団「意見書」の学習会



予算要望を提出する大かわら鈴子議員(左から3人目)



先日、2013年度の神戸市予算編成に対する要望書を市長に提出しました。借上住宅問題、福祉パス問題、県立こども病院誘致問題、中学校給食の実施など、市民の切実な要求について強く実現を求めました。矢田市長は「財政的な問題がある」などと言いますが、むだづかいはそのままで市民負担だけをこの10年間で276億円も増やしています。自治体として、市民の暮らしや福祉を守り、向上させていくという本来の立場に立ち、予算編成をするべきです。

新年を迎え、新たな気持ちで、みなさんの要望の実現をめざして取り組んでいきます。

なんでもお気軽にご相談ください

●日本共産党兵庫区事務所
☎(577)7987

日本共産党神戸市会報告 兵庫区版 2013年・新年号

発行：日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
☎322-5847 <http://kobe.jcp-giin.net/>